

塗装の神は細部に宿る。
塗装職人の誇りを胸に、
丹精込めて塗り上げる。



もちづき たすく
望月 翼

職人歴 18年以上 / 施工棟数 500棟以上
<2019年現在>

塗装工事に妥協はいらない。それが職人としての挙動。

**圧倒的な仕上がりを提供するために、
どこまでこだわりを貫けるか。**

塗装職人の役割は、住まいを綺麗に、かつ長持ちさせるお手伝いをすること。そのために、細部までこだわりを貫いて塗装しています。

外壁や屋根の目立つ部分を綺麗に塗り上げていくことは当たり前。細部まで美しい住まいにするために、電気メーターの裏側など普段は見えない箇所まで丁寧に塗装することを心がけています。

また、塗料の性能を最大限発揮するために、現場に入る前は工程表や仕様書を熟読し、塗料メーカーが指定する乾燥時間や塗膜の厚さを頭に叩き込んでいます。一切妥協しない塗装工事で、完璧な仕上がりをご提供いたします。

こだわり 道具 状況に応じて最適な道具を選定

ローラーは毛の長さや材質が違うものを複数用意し、外壁の素材によって使い分けています。新しい道具を採用する際はメーカーの試供品を入念にチェックしてから決めるなど、慎重に検討しています。

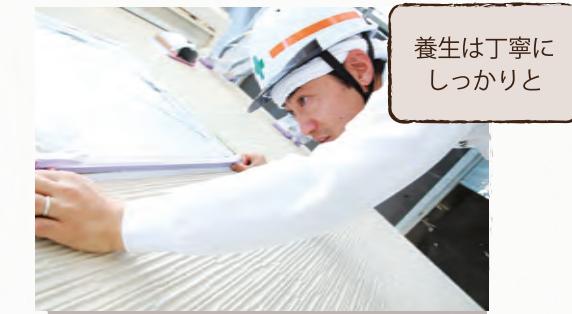


完璧に仕上げるため、
すべての工程に全身全霊。

細部まで、徹底的にこだわり抜く。



施工 質の高い塗装工事を徹底追及



洗浄

近隣に洗浄水が飛散するのを防ぐため、ブルーシートを入念に張ったり、屋根では足場の方から内側にノズルを向けて洗浄するなど、細かいところまで気を遣って作業を進めます。

下地補修

施工前に打ち合わせをするだけでなく、現場で詳細な劣化症状を見て最適な補修方法を提案しています。下地補修は塗装工事で最も重要な工程ですので、経験に基づいた確かな判断力が求められます。

養生

養生ビニールが風でたわんで音を立てないようにピンと張る、開けられるようにしてほしい窓をお客様に逐一聞いておくなど、住んでいるお客様のことを第一に考えて養生していきます。

下塗り

下地の素材や劣化状況によって、使う道具や塗装方法を切り替えてています。例えば劣化が進んだ屋根などは一度塗っただけでは下地が塗料を吸い込んで十分な膜厚を確保できないので、必ず二回以上塗るようにしています。

中塗り・上塗り

効率のよさよりも仕上がりを重視。ムラなく綺麗な仕上がりを実現するために、外壁は一面ずつ均一に仕上げていきます。

もちづき たすく **望月 翼** プロフィール

- | | | | |
|--------|-----------|------------|-----------|
| ■ 生年月日 | 1984年7月6日 | ■ 保有資格 | 一級塗装技能士 |
| ■ 出身 | 神奈川県相模原市 | 職長・安全衛生責任者 | 有機溶剤作業主任者 |
| ■ 性格 | 細かい | | |
| ■ 趣味 | 晩酌 | | |

